

○議長（小林哲雄）

日程第16 報告第3号 平成27年度開成町土地開発公社事業計画・予算及び資金計画について、を議題といたします。報告書の説明を、公社理事長に求めます。

理事長。

○副町長（小澤 均）

平成27年度開成町土地開発公社事業計画予算及び資金計画について、ご説明申し上げます。

報告第3号 平成27年度開成町土地開発公社事業計画・予算及び資金計画について。地方自治法第243条の3第2項の規定により平成27年度開成町土地開発公社事業計画・予算及び資金計画を別添のとおり提出する。

平成27年3月3日提出、開成町長、府川裕一。

1ページをご覧ください。

平成27年度の開成町土地開発公社事業計画は、次に定めるところによる。

平成27年2月12日提出、開成町土地開発公社理事長、小澤均。

2ページと3ページをご覧ください。平成27年度の事業計画としましては、具体的な土地の取得、売却の予定はございませんけれども、窓口予算として、その他事業に1,000円をそれぞれ計上させていただきます。

4ページをご覧ください。平成27年度開成町土地開発公社予算及び資金計画。

総則。第1条、平成27年度開成町土地開発公社予算及び資金計画は、次に定めるところによる。

収入支出予算。第2条、収入支出予算の総額は、収入支出それぞれ6,775万1,000円と定める。

2、収入支出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 収入支出予算」による。

借入金。第3条、借入金の目的、限度額、借入先、借入方法、借入利率及び償還方法については、「第2表 借入金」による。

資金計画。第4条、資金計画は、「第3表 資金計画」による。

平成27年2月12日提出、開成町土地開発公社理事長、小澤均。

次に5ページをご覧ください。第1表、収入支出予算。収入は、事業収入、土地売却収入4,962万5,000円、これは平成19年度に公社から町に売却した松ノ木河原の土地に係る平成27年度分の売却収入でございます。借入金1,000円、繰越金、平成26年度からの繰越金として1,811万9,000円、事業外収入6,000円、これは利息収入です。収入合計は、6,775万1,000円でございます。支出としましては、事業費が土地取得費1,000円、一般管理費3,000円、借入金償還金4,530万6,000円、これは平成17年度に公社が購入した松ノ木河原の土地に係る平成27年度分の償還元金でございます。

事業替え支出51万3,000円、これは借入金償還金に係る支払利息です。そのほか、予備費2,192万8,000円を加えまして、支出合計は6,775万1,000

0円でございます。

6ページの第2表借入金と7ページの資金計画につきましては、記載のとおりとなっております。

8ページと9ページをご覧ください。平成27年度収入支出予算説明書でございます。収入支出ともに、前年度予算に比較をしまして、313万6,000円の増額としております。こちらの内容も、5ページの収入支出予算で説明したものと重複をしますので、説明を省略させていただきます。

10ページをご覧ください。平成26年度収入支出決算見込計算書でございます。表の上の記載をご覧ください。平成27年3月末の決算見込みは、収入見込額6,461万5,343円、支出見込額4,649万5,869円、差し引きは1,811万9,474円となる見込みでございます。

表の中の当年度決算額の欄をご覧ください。収入内訳としましては、町に売却した松ノ木河原の土地に係る町からの土地売却収入、平成25年度からの繰越金、預金利息収入となっております。

次に11ページをご覧ください。支出内訳としましては、公社が購入した松ノ木河原の土地に係る借入金償還金、事業外支出としまして、借入金償還金に係る支払利息となっております。

11ページから17ページは、決算諸票でございます。12ページから14ページが、平成26年度末、15ページから17ページは、平成27年度末となっております。

初めに平成26年度の決算見込みです。まず、13ページの予定損益計算書をご覧ください。一番下の数値、当期純利益をご覧ください。松ノ木河原の土地に係る公社の償還金、償還に係る利息、町からの売却収入、預金利子収入を加味しまして、313万5,420円が、平成26年度における純利益となる見込みでございます。

前のページ、12ページの予定貸借対照表をご覧ください。

資産の部は、公社の保有している預金残高と松ノ木河原の土地に係る平成27年度以降の収益を計上してございます。

負債の部は、平成27年度以降に、松ノ木河原の土地に係る公社が償還する元金を償還してございます。

資本の部は、基本財産、前年度からの繰越金、先ほど13ページでご説明した、当期純利益をそれぞれ計上してございます。

次に、平成26年度における資金の流れを14ページのキャッシュフロー計算書でご説明いたします。

(1) 事業活動によるキャッシュフローでございます。松ノ木河原の土地に係る売却収入から、償還元金を差し引いた収益、利息の受取額、償還に係る利息の支払額をそれぞれ計上し、事業活動によるキャッシュフローは、313万5,420円となる見込みでございます。

次に(2) 投資活動によるキャッシュフローでございます。平成26年度は、(1)の事業活動によって、生じた収益により、300万円を定期預金に積み増しをしてござ

いますので、投資活動によるキャッシュフローは、マイナス300万円となる見込みで  
ございます。その結果、(4)現金及び現金同等物増減額は13万5,420円となり、  
これに(5)現金及び現金同等物期首残高を足しまして、(6)の期末残高は、110  
万4,680円となる見込みでございます。

最後に、15ページから17ページが、平成27年度の決算見込みとなっております。  
計上内容については、平成26年度と同様となっておりますので、説明は省略をさせて  
いただきます。

以上です。

○議長（小林哲雄）

説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑をどうぞ。

（「なし」という者多数）

○議長（小林哲雄）

ないようですので、以上で報告第3号 平成27年度開成町土地開発公社事業計画・  
予算及び資金計画についての報告を終了いたします。